

明治ROESG[®]※経営による企業価値創造

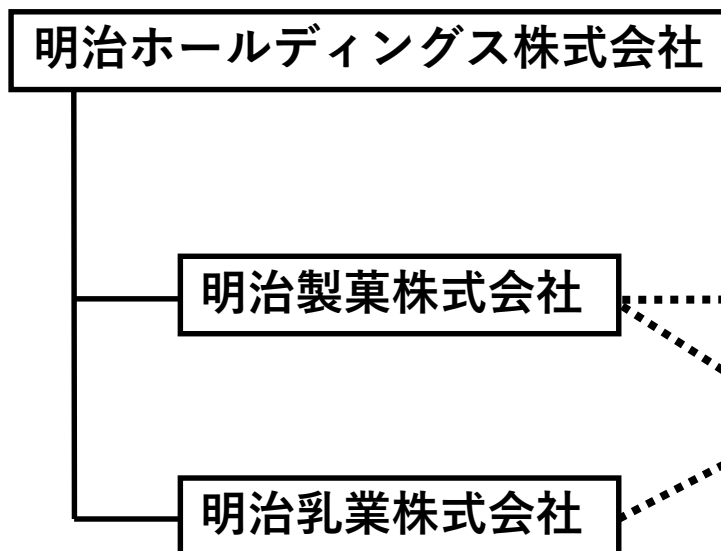
2022年3月17日

明治ホールディングス株式会社

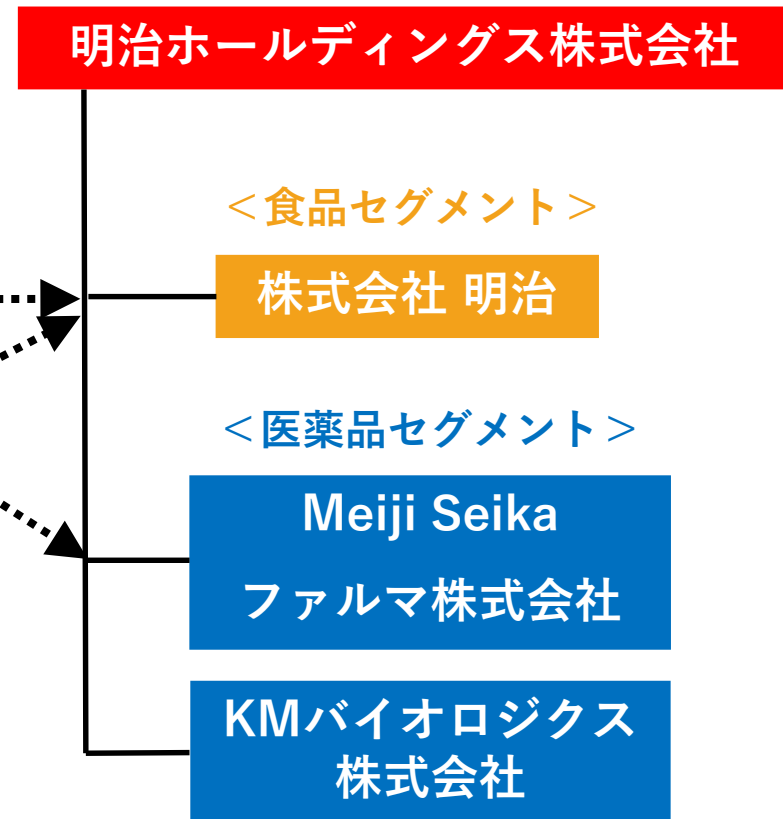
取締役 専務執行役員 CSO 古田 純

明治グループ

< 2009年4月～2011年3月末 >



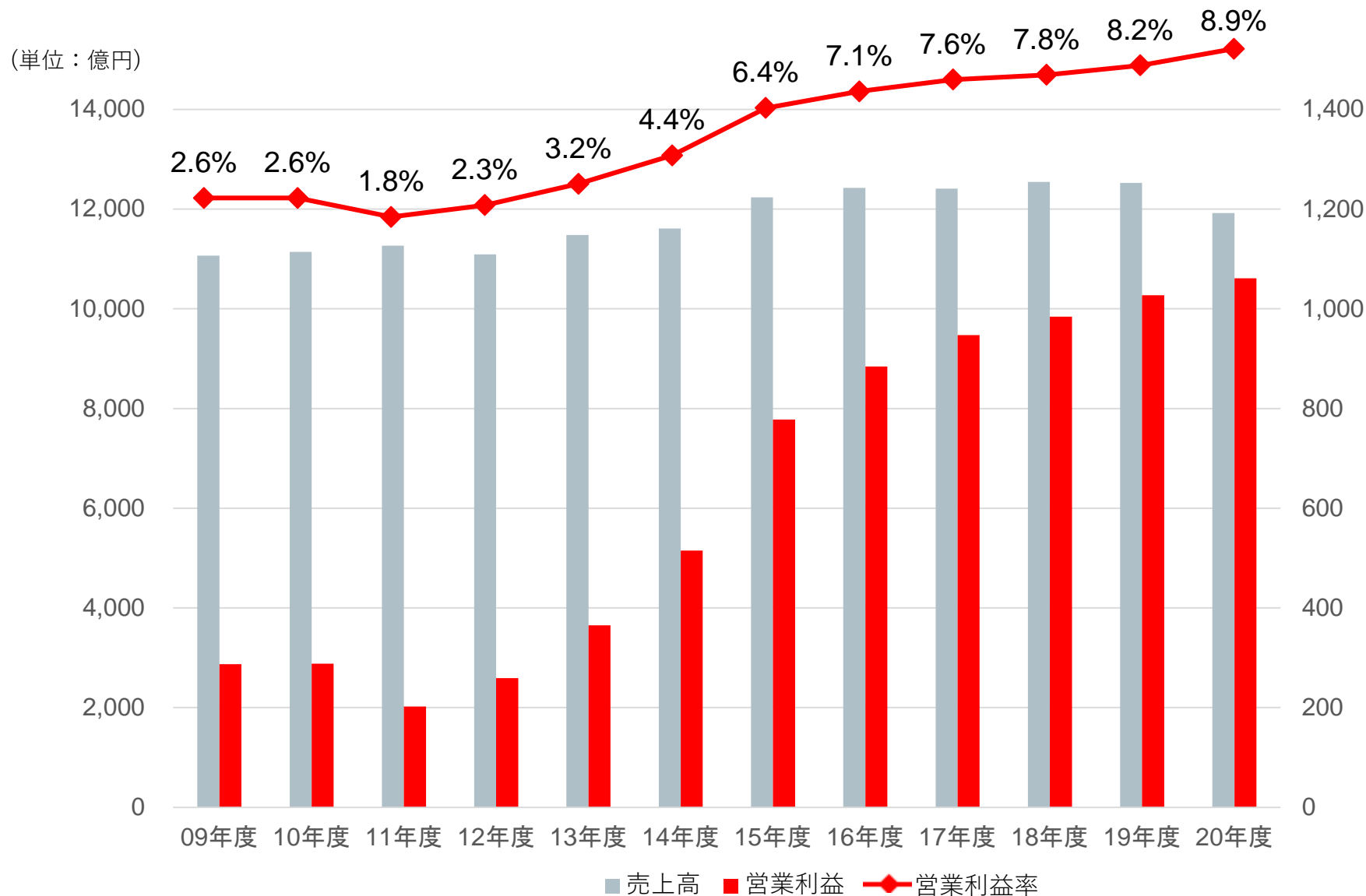
< 2011年4月～現在 >



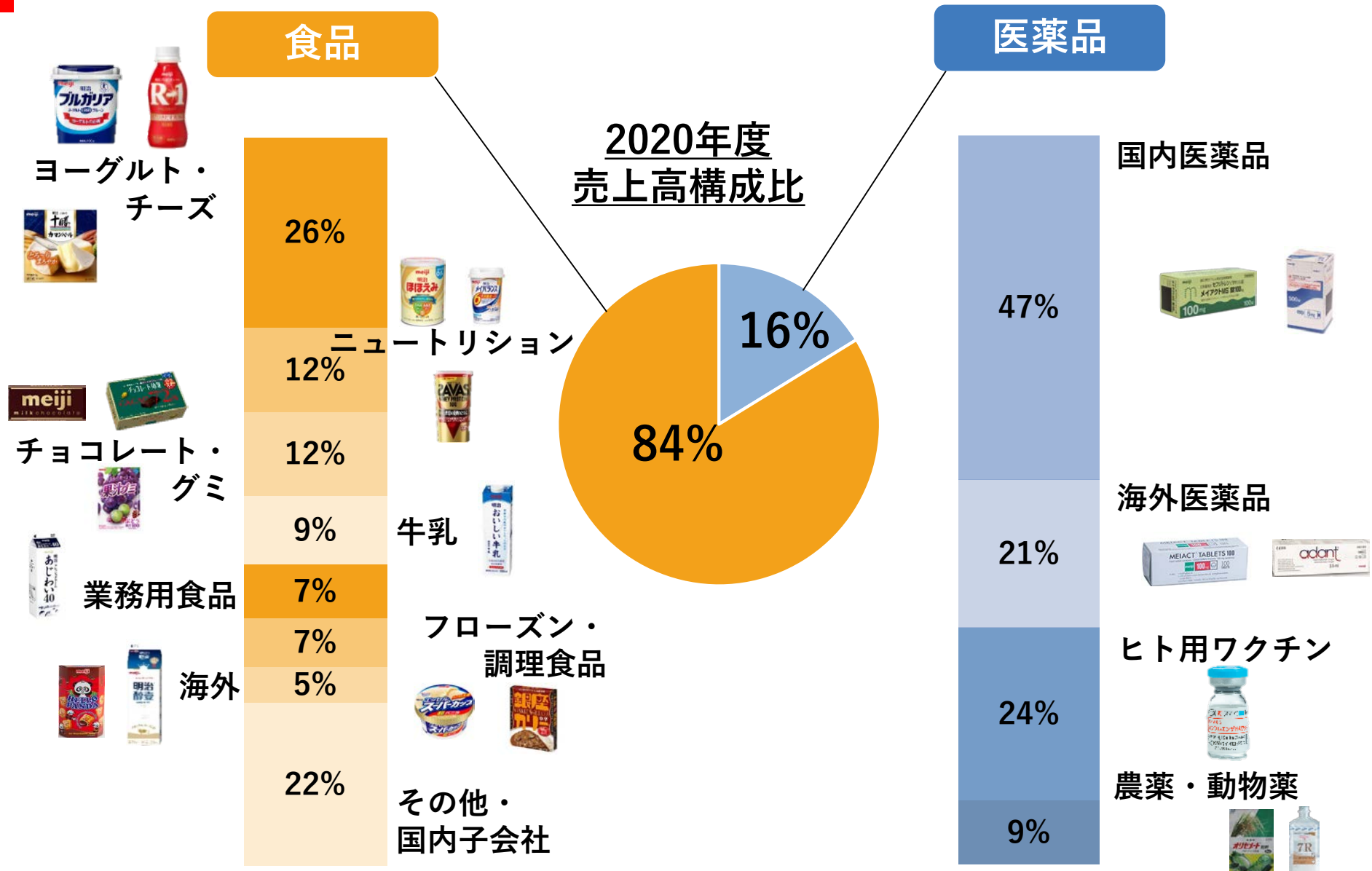
(2018年7月から連結子会社化)

◆2020年度 明治グループ業績
売上高 : 1兆1,917億円
営業利益 : 1,060億円

業績推移



事業ポートフォリオ



明治グループの海外展開状況

欧州
医薬品：4社

中国・韓国
食品：6社
医薬品：4社

米国
食品：3社

東南アジア・インド
食品：6社
医薬品：7社

オセアニア
医薬品：2社

国内グループ会社数 **32社**
(国内グループ従業員数12,354人)
海外グループ会社数 **32社**
(海外グループ従業員数5,478人)

従業員、グループ会社数は2021年3月31日現在

新グループスローガン

健康にアイデアを
meiji

2023中期経営計画（21年度～23年度）

コンセプト

※ 明治ROESG[®] 経営の実践

利益成長とサステナビリティ活動の同時実現

重点課題

1. 事業戦略

食品セグメント

- ①コア事業の成長力の回復
- ②海外展開の強化

医薬品セグメント

- ①Meiji Seika ファルマ・KMバイオロジクスの
一体運営推進（ワクチン事業の強化）
- ②CMO/CDMOの強化

全体

新領域への挑戦

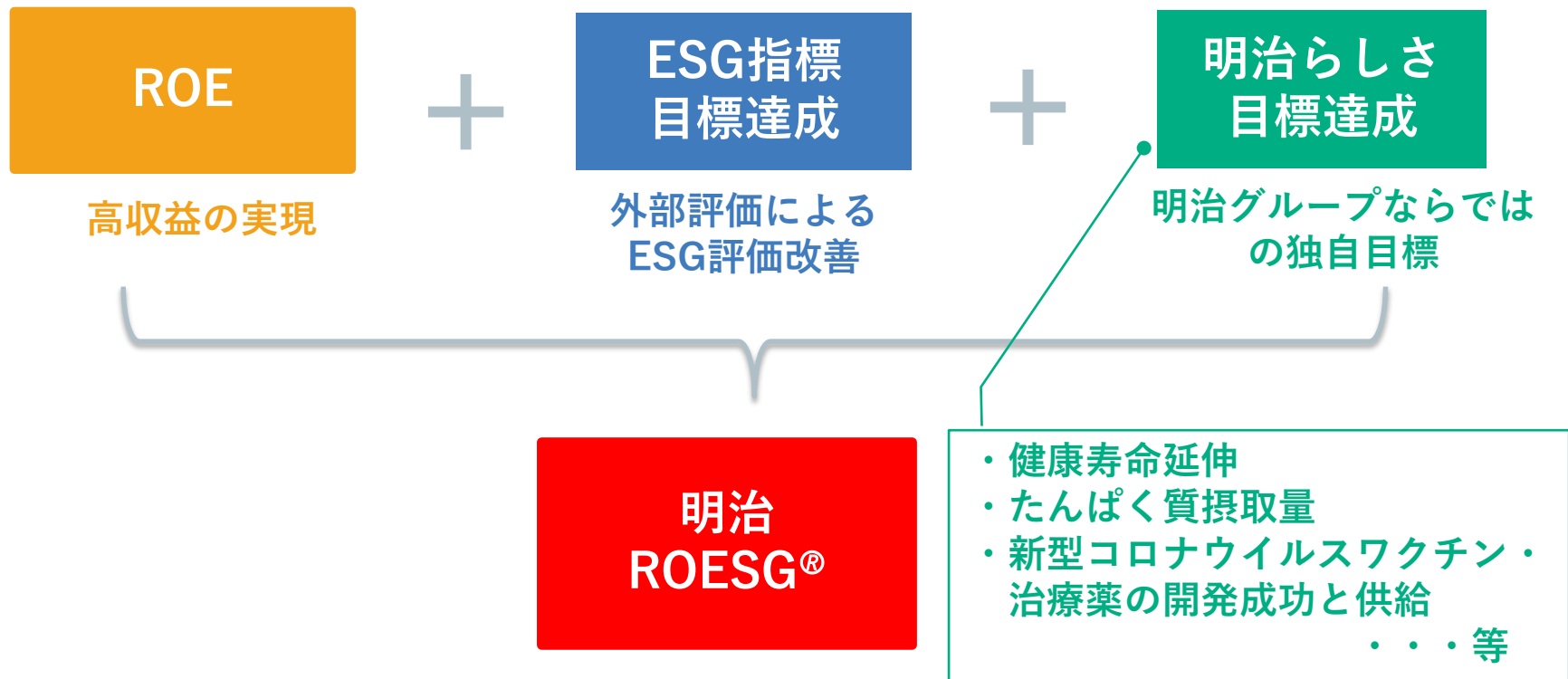
2. ROIC活用による経営管理体制強化

3. 成長投資の継続と強固な財務基盤構築の両立

4. サステナビリティ2026ビジョンの着実な実行

※「ROESG」は一橋大学教授・伊藤邦雄氏が開発した経営指標で、同氏の商標です

利益成長とサステナビリティ活動の同時実現

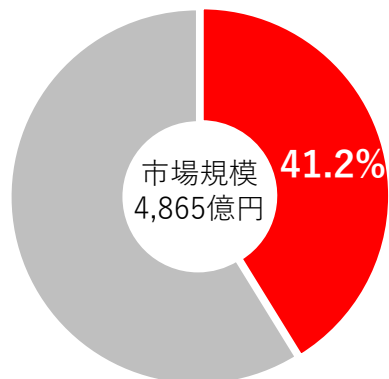


※「ROESG」は一橋大学教授・伊藤邦雄氏が開発した経営指標で、同氏の商標です

食品：主要製品と市場シェア

ヨーグルト

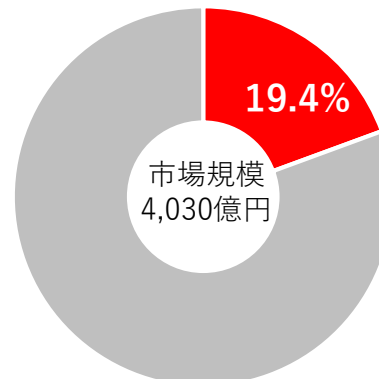
国内市場シェア 1位



※シェア（2020年度）出典：インテージ社SRI+

牛乳

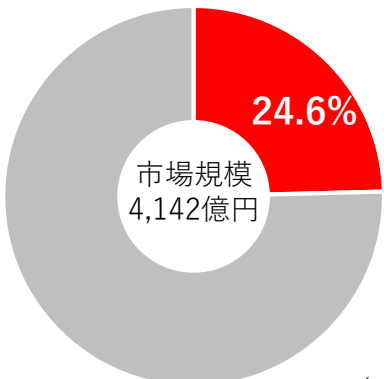
国内市場シェア1位



※シェア（2020年度）出典：インテージ社SRI+

チョコレート

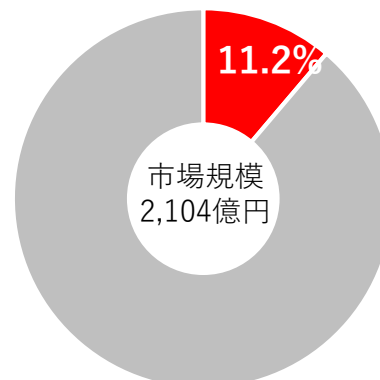
国内市場シェア 1位



※シェア（2020年度）出典：インテージ社SRI

チーズ

国内市場シェア 3位

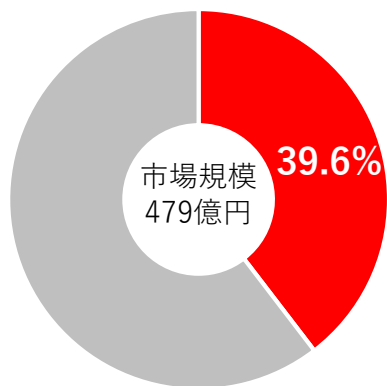


※シェア（2020年度）出典：インテージ社SRI+

食品：主要製品と市場シェア

プロテイン（粉末・顆粒）

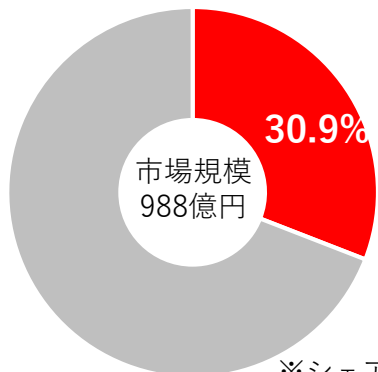
国内市場シェア 1位



※シェア（2020年度）出典：当社調べ

流動食（市販向け除く）

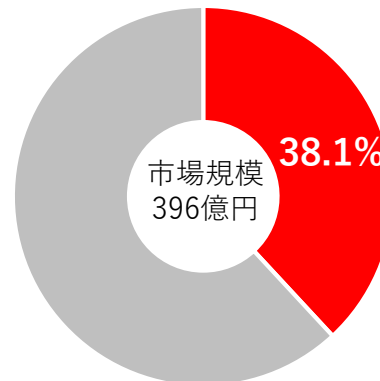
国内市場シェア 2位



※シェア（2020年度）出典：当社調べ

粉ミルク

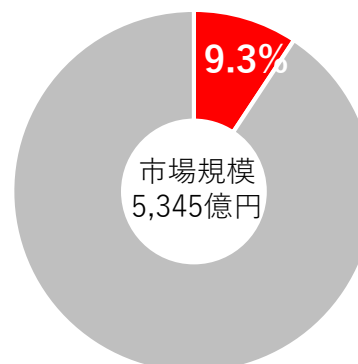
国内市場シェア 1位



※シェア（2020年度）出典：インテージ社SRI+

アイスクリーム

国内市場シェア 6位



※シェア（2020年度）出典：インテージ社SRI+

食品：海外展開の強化

● 中国

- 当社が強みを持つ商品群を展開

(牛乳、ヨーグルト、菓子、アイス、ザバス)

- 生産能力の大幅拡大

2023年度までに3つの工場を新設し、展開エリア拡大と共に売上を伸ばす



● 東南アジア

- タイ、シンガポール、インドネシア等で、それぞれの国に応じて、乳製品や菓子、栄養食品を展開



● アメリカ

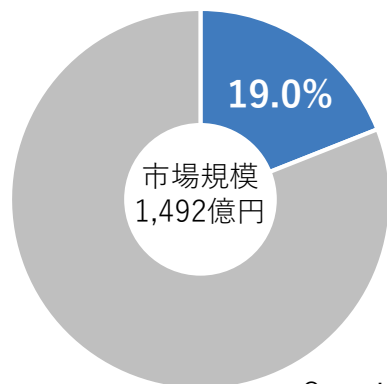
- チョコスナック市場で当社の強みを活かして展開



医薬品：感染症領域への経営資源集中

全身性抗菌剤

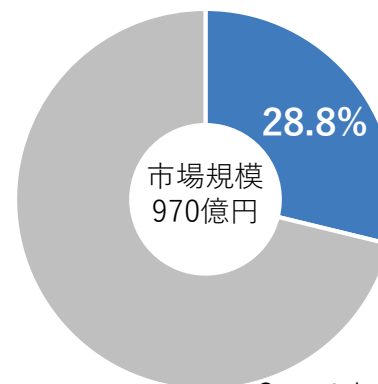
国内市場シェア 1位



Copyright©2021IQVIA
市場規模・シェア（20年度）出典：
IQVIA医薬品市場統計 JPM2021年3月MATを
もとに作成。市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

インフルエンザワクチン

国内市場シェア 1位



Copyright©2021IQVIA
市場規模・シェア（20年度）出典：
IQVIA医薬品市場統計 JPM2021年3月MATを
もとに作成。市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

新型コロナウイルスワクチンの開発状況

- 第2/3相臨床試験を2021年10月に開始
- 実用化は2022年内を目標
(追加接種用として条件付き早期承認が認められた場合)

医薬品：ワクチン事業

ワクチンの種類	政府が確保しているワクチン	特徴	安全性	有効性	開発期間
不活化ワクチン	なし	大量に培養したウイルス、細菌又は毒素を、薬剤等で処理して感染性や毒性をなくしたものをワクチンとして利用	◎	○	○
DNAワクチン mRNAワクチン	ファイザー モデルナ	ウイルス抗原の設計図であるDNAまたはmRNAそのものをワクチンとして利用	○	◎	◎

「栄養ステートメント」の制定

Mind 01 乳、カカオ等の自然素材を生かし、毎日の健康を支える“栄養”を提供します。

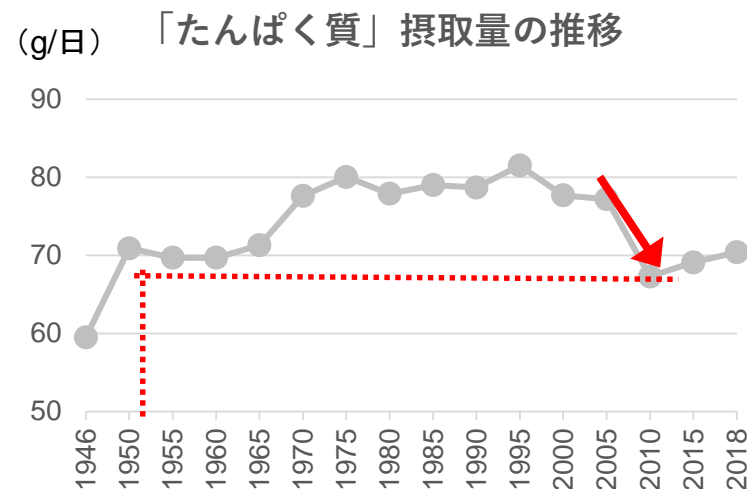
Mind 02 さまざまな『+1（プラスワン）の価値』で、心を満たす“栄養”を提供します。

Mind 03 “栄養”で、各国・各地域の生活者それぞれの人生を豊かにするお手伝いをします。



明治らしい独自価値の提供

- ✓ 現代人のたんぱく質摂取量は1950年代と同水準まで低下
- ✓ 「1日+10g」のたんぱく質摂取を提案日常の様々なシーンで補給できる明治ならではのラインアップで展開
- ✓ 他の食品メーカーと協業し、ラインアップを拡充して低栄養問題の解決へ



2020年春 **14** S K U → 2021年末 **24** S K U

出所: 厚生労働省

meiji

ヤマザキ

伊藤ハム

yonekyu



タンパクト
TANPACT

健康価値領域での新たな挑戦

「抗老化」と「免疫増強」の2つのテーマで食・薬のシナジーを追求
新たな健康価値の提供を目指す



食品

- ・ 栄養学の知見
- ・ 乳・乳酸菌・カカオの研究
- ・ 栄養設計技術 など

医薬品

- ・ 薬理学の知見
- ・ 合成技術
- ・ 微生物・バイオ技術 など

新たな
健康
価値

- ・ 他社や大学など社外の知見を積極的に取り入れ

オープンイノベーション

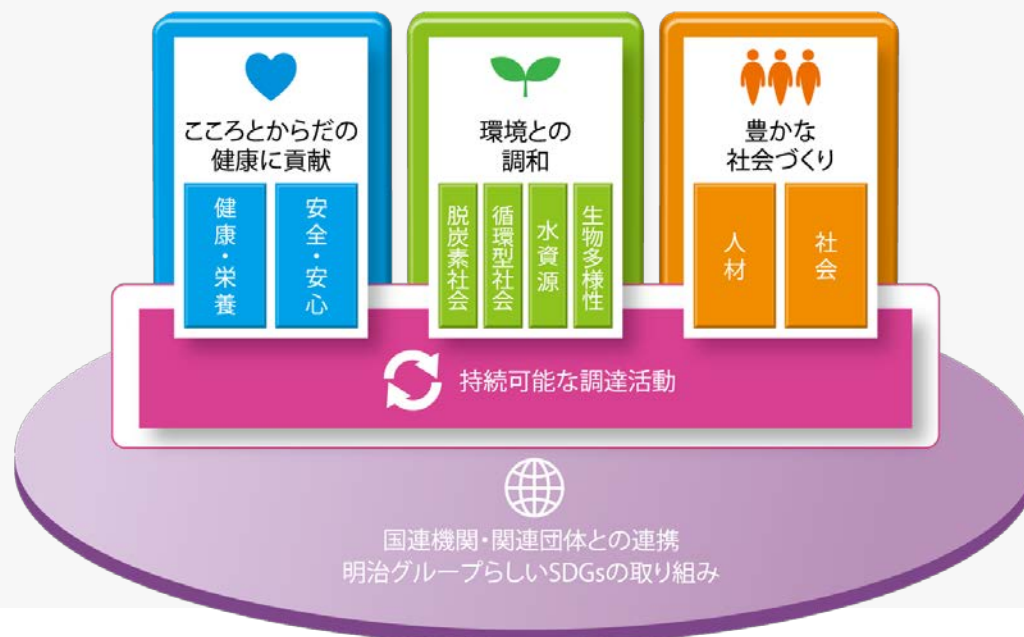
ミッション & ビジョン

Mission

明治グループのNEXT100にむけて、
世界の人々が笑顔で健康な毎日を過ごせる未来社会をデザインする

サステナビリティ2026ビジョン

明治グループは、食と健康のプロフェッショナルとして
事業を通じた社会課題の解決に貢献し、人々が健康で安心して暮
らせる「持続可能な社会の実現」を目指します



明治グループ長期環境ビジョン

Meiji Green Engagement For 2050

明治グループが地球とのエンゲージメントを通じて将来にわたって自然との共生を図ることで、持続可能な地球環境の実現に貢献



気候変動

サプライチェーン全体で
カーボンニュートラル



水資源

原単位で水使用量半減
ウォーターニュートラル



資源循環

ゼロエミッション

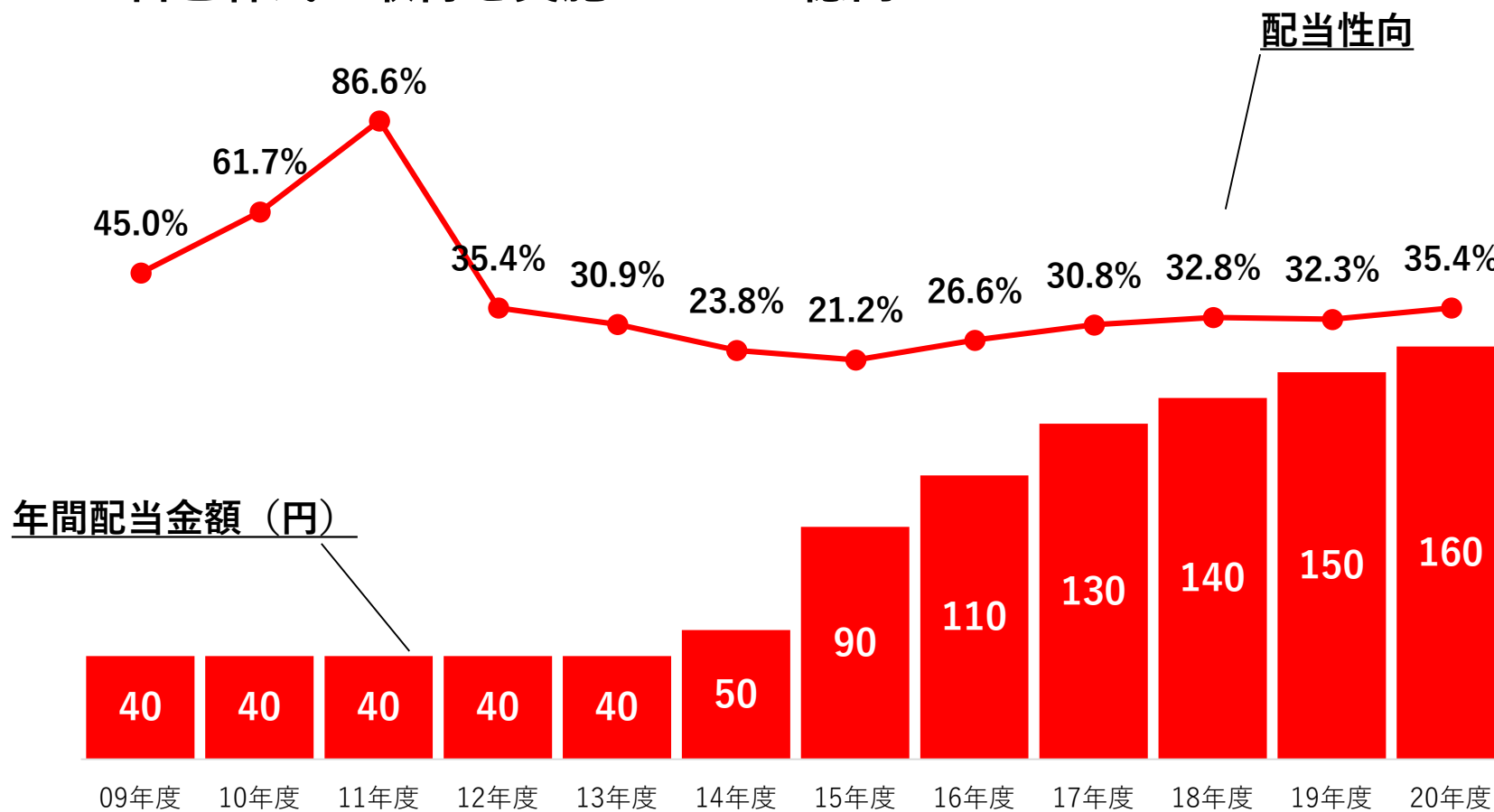


汚染防止

環境汚染ゼロ

株主還元

- 2023年度までに連結配当性向40%水準に引き上げ
- 自己株式の取得を実施 300億円



2015年10月1日で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、上記数値はこの株式分割を反映しています

株主優待制度

100株以上の株式をご所有の株主さまを対象に、ご優待品を10月末ごろにお届け（基準日3月31日）

ご所有株式数	優待品
100株以上	明治グループ製品詰め合わせ 2,000円相当
500株以上	明治グループ製品詰め合わせ 3,500円相当
1,000株以上	明治グループ製品詰め合わせ 5,000円相当



2021年度の優待品
(500株以上3,500円相当)

株主さまのご意志により、同等のグループ製品を福祉団体などへご寄贈いただくことも選択できます

健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。